

問

代表・一般質問を平成16年6月7日・8日・9日に開会した第2回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行に当たる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党



新井 ひでお 議員

施設の更新について

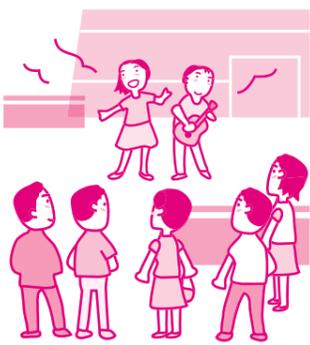
【問】360施設といわれる様々な施設が、今後、更新を迎える。そのピーク時の規模や負担は、どの程度と想定するのか。

【答】平成24年度が最大となり、約40億円の施設更新費を見込んでいます。平成20年代に毎年2校、平成30年代には毎年3校の改築需要が想定される。建設にあたっては、建設用地の規模や小・中一体の建設の必要性とコスト、効果等について検証している。

【問】つくばエクスプレスの開通を目前に北千住の将来を考えた。産官学が融合した芸術・文化の創造拠点としての位置付けを検討してはどうか。

【答】既にある資源とこれから

つくられる新しい芸術や文化の拠点が相互に影響しあい、千住地域にあるものを活かし、更に文化・芸術の発信拠点として成長していくよう、産業・経済や教育・文化と連動した総合的な施策展開を図れるよう努めていく。



行政評価に第三者機関の設置を

【問】財関西社会経済研究所の調査において、当区の行政評価は15位と高い評価を得ている。これまでの様な行政主体の評価から脱却して、区民が客観的に政策を評価する第三者機関を設け、開かれた評価システムへ変革してはどうか。

【答】新たな基本構想・基本計画に組み込んで再構築される行政評価制度においては、区組織内部だけで行うのではなく、区民や学識経験者等による「第三者評価」の仕組みも整備していく。

【問】国際テロ組織アル・カイダは、日本にも潜伏していた。テロ対策として国民一人ひとりが危機意識を共有することが重要であり、区としても区民にテロについて認識させることが必要である。今回、焦点となつて

【答】既にある資源とこれから

算、施設、訓練等の課題がある。国際社会における日本の役割りと自治体の役割り、それがもたらす区民の生活との関係はどの様に与らえているのか伺う。

【答】区としては、警察署や消防署など関係機関と連携・協力してテロ対策についての検討をはじめめる。今後は、区民の皆様にも広く周知し、認識を深めていただく様に努めていく。

【問】地域活性化に関わる経済・観光振興を展開するには、フィルムコミッションを設立することも有効な手段である。区のイメージ向上のために設置を検討すべきと思うが、どうか。

【答】区としても、都・生活文化局が実施する映像製作を支援する総合的な窓口である「東京ロケーションボックス」を活用するとともに、今年度策定を目指す観光計画の中で、フィルムコミッションを実施する方向で具体的な内容を検討していく。

【問】次世代育成対策推進法が制定され、子育て支援は新たな展開を迎えた。未就学児童の25%は認可保育園を利用、対して42%は在宅で子育てをしており、サービスクストに対する負担の適正化、バランスを考えなければならぬ。

【答】既にある資源とこれから

子ども関係の事業を一括して対応できる所管部として、「こども家庭部」等を設置し、行動計画を推進すべきと思うが、どうか。

【答】在宅で子育てをしている世帯への支援は必要な施策である。在宅の子育て世帯と保育所利用世帯との間で不公平感を生まない様なバランスのとれた料金体系とサービスを検討していく。

【問】従来の障害者雇用施策は、助成金や補助金といった行政からの支出に依存した予算消化型に偏っていた。障害者雇用の実態は、国の定めた障害者雇用率1.8%すら達成できていない。民間活力を活用し、障害者雇用に取り組んではどうか。

【答】現在、就労の斡旋については、職業安定所を中心に進めている。今後、区の公有地等を活用し、民間事業者による創意工夫によって一般雇用の場の創出に向けて関係機関との調整を進めるとともに、新たな就労支援体系を検討していく。

【問】現在、事業着手している桑袋ビオトープ公園の一部に、六町地区の環境工コ農園を造成してはどうか。

【答】既にある資源とこれから

【問】公園の管理運営については、地元住民やNPOと協議を進めながら決めていく。



つくばエクスプレスのダイヤ編成について

【問】つくばエクスプレスの来秋の開業に向けて、ダイヤ編成についての協議はあったのか。

【答】北千住駅を快速系列車の停車駅とすること、秋葉原駅・八潮駅間の折り返し運転のダイヤ編成を考慮すること、所要時間、運賃は、既存路線に対抗できる計画にすることを要望した。

【問】北千住駅西口地区市街地再開発事業が完了し、足立区の表玄関が装いを新たにし、今後

【答】既にある資源とこれから

は、シアター1010のこけら落としが行われる。この様な状況に対し、区はどのような都市機能例えは宿泊施設の様なものが必要であると認識しているのか。

【答】北千住西口地区市街地再開発事業の完了により、北千住の駅前が賑わっている。今後は、集まった人をどの様に回遊させるかが鍵であると考え、こうした意味においても、ホテルは千住に必要な都市施設であると認識している。

【問】つくばエクスプレスや日暮里・舎人線の開業に向け、駐車場の整備は重要であるが、それぞれどのような状況にあるのか。

【答】青井駅に約2千台の駐輪場が完成した。六町駅には平成17年度に約1千500台の駐輪場を暫定的に整備していく。

【問】日暮里・舎人線では自転車需要予測のうち、概ね半分を整備し、残りを民間にお願いする。短時間無料化については、平成17年4月オープン時の竹の塚西口南地区市街地再開発事業地内の駐輪場において、現在、検討を進めている。今後は、この事業成果を踏まえて駐輪場での短

【答】既にある資源とこれから



鈴木 進 議員